



#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がペアやグループでお互いの考えや意見を出し合う「人間関係づくりプログラム」の普及、啓発を行い、魅力ある学校づくりを推進した。</li> <li>・スマートフォン等から利用できるいじめ等の匿名連絡サイトに、いじめやSNSの不適切な投稿など82件の連絡が寄せられた。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内6か所開催に拡大した不登校児童生徒等への補充学習教室に1,119人が参加した。</li> <li>・フリースクール等連絡協議会を開催し、フリースクール関係者・教育委員会との間で、不登校児童生徒に対する支援の在り方や、フリースクールの運営について情報共有し、協議を深めた。</li> <li>・青少年教育施設でのチャレンジキャンプを通じて、参加した不登校児童生徒に目標達成に向けて取り組む姿勢や自立心が育まれた。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の立地環境に応じた防災教育の一環として、児童生徒が「地域安全マップ」を作成する実践的な授業を別府市・竹田市・佐伯市で実施した。</li> <li>・高校生が主体的に防災教育に取り組むため、高校生防災リーダー67人を養成した。</li> <li>・県立学校自転車通学生に対して、ヘルメット着用モニターを募集し、794人がモニター活動を行った。</li> <li>・私立幼稚園の遊具等の整備については、各園に実際に補助金を活用した例を周知し、遊具等の整備の促進を図った。</li> </ul>

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	いじめ・不登校等防止推進事業	—	310
	いじめ・不登校等解決支援事業	95.9(R1)	310
	スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	110.0	310
	不登校児童生徒教育支援事業	—	311
②	青少年教育施設を活用した不登校対策事業	121.4	311
③	私立幼稚園施設耐震化促進事業	100.0	311
	学校防災教育推進事業	100.3	312
	県立高校自転車通学生ヘルメット着用推進事業	103.2	312

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○大分県フリースクール等連絡協議会(R2.6)  
 ・フリースクールにおける出席扱いの判断基準を示してほしい。

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒が多い学校に、スクールカウンセラーを週2日重点配置し、教育相談体制の充実を図る。</li> <li>・別室登校など不登校傾向にある児童生徒への支援等を行う登校支援員を配置する。</li> <li>・派遣型から巡回型訪問に拡充するため、スクールソーシャルワーカーを増員する。</li> <li>・不登校児童生徒を対象に、ICTを活用した家庭学習支援や補充学習教室を実施する。</li> <li>・地域安全マップや「マイタイムライン」等、様々な災害に対応した防災教育の効果的手法の改善、普及を推進する。</li> <li>・高校生が防災教育・防災活動を主体的に実践できるよう、高校生防災リーダー養成プログラムに基づいた取り組みを推進する。</li> <li>・不登校児童生徒支援のさらなる充実を図るため、青少年の家に「ふれあい広場」を開設する。</li> <li>・私立幼稚園の施設等の整備については、引き続き私立幼稚園の耐震化の促進と、教育環境の充実を図る。</li> </ul>